

電力自由化の経緯

政策研究大学院大学
金本良嗣

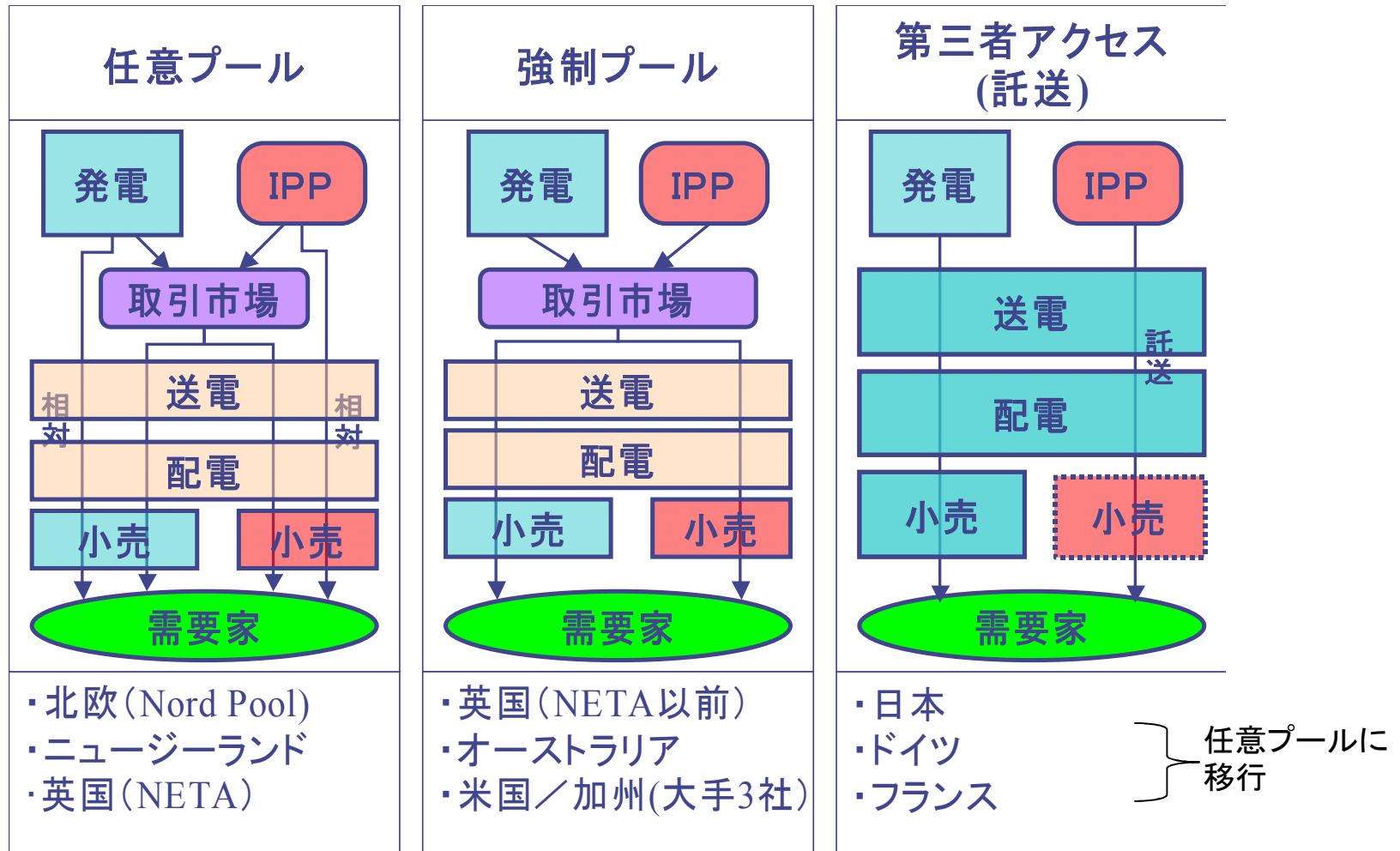
日本における電力自由化

- 2000: 大口自由化、2,000kW, 20k
- 2004: 高圧への拡大、500kW, 6kV
- 2005: 高圧すべてへの拡大、50kW, 6kV
- 2007: 家庭部門への拡大を見送り

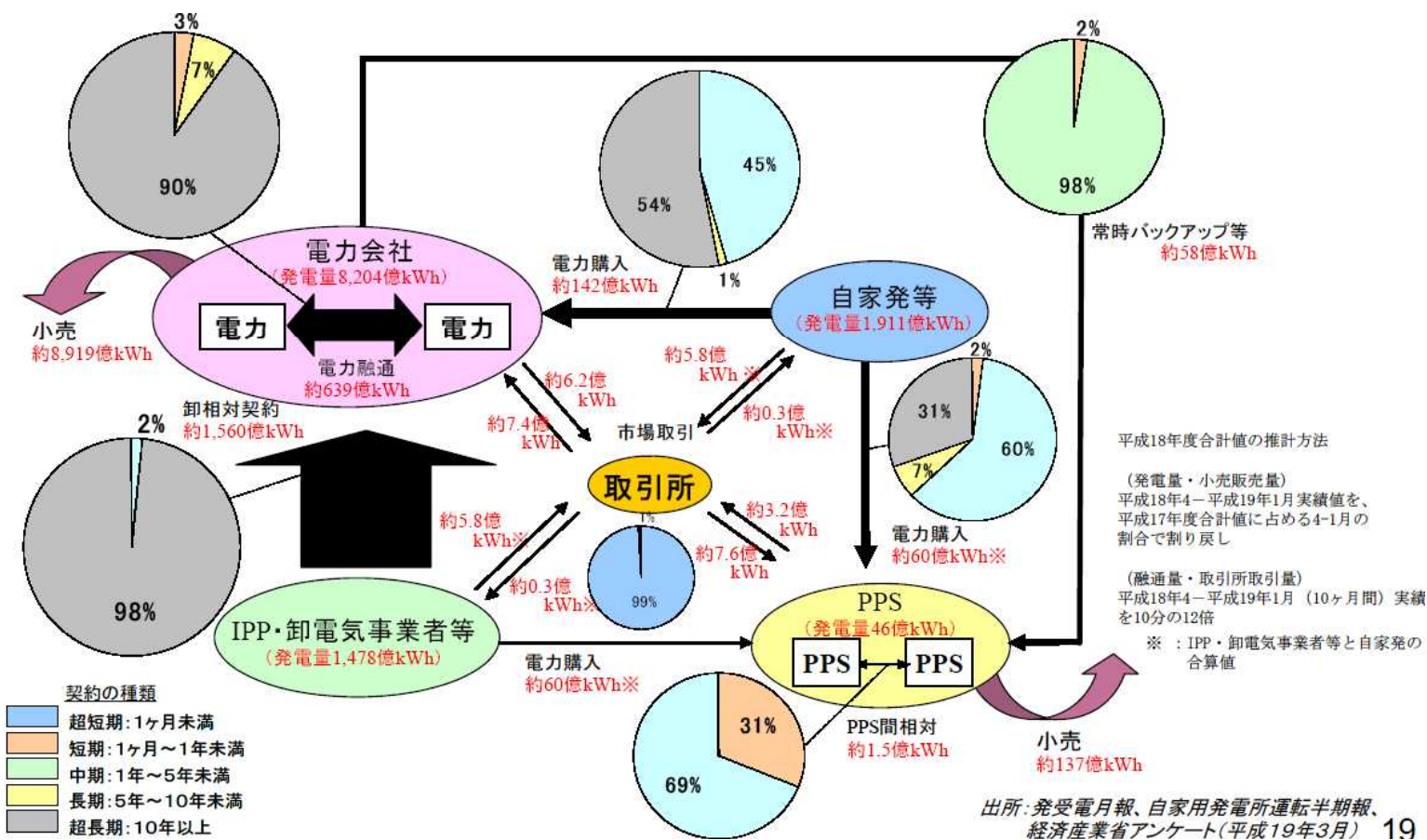
日本の自由化の特徴

- 第三者アクセス(託送)方式: 垂直統合電力事業者が送配電サービスを新規事業者に提供
- 30分3%同時同量
- 競争性
 - 新規事業者のシェアはきわめて低い: 3%以下
 - 電力事業者間の競争は実質的にない
- 卸電力取引市場: 依然としてシェアは小さい
- 電気料金は低下傾向

電気事業の自由化モデル

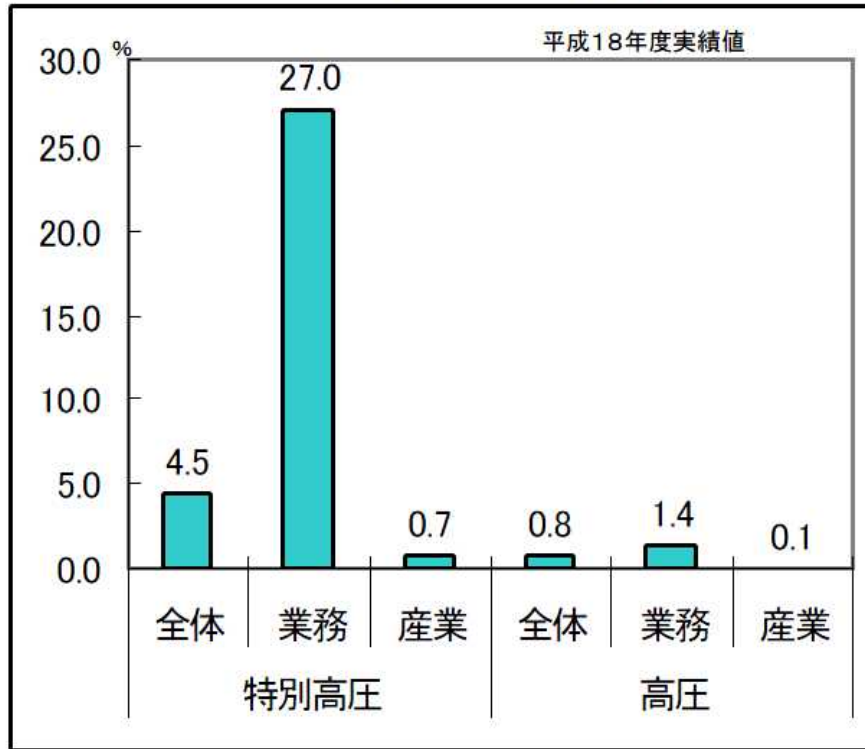


卸市場全体の構造把握 平成18年度



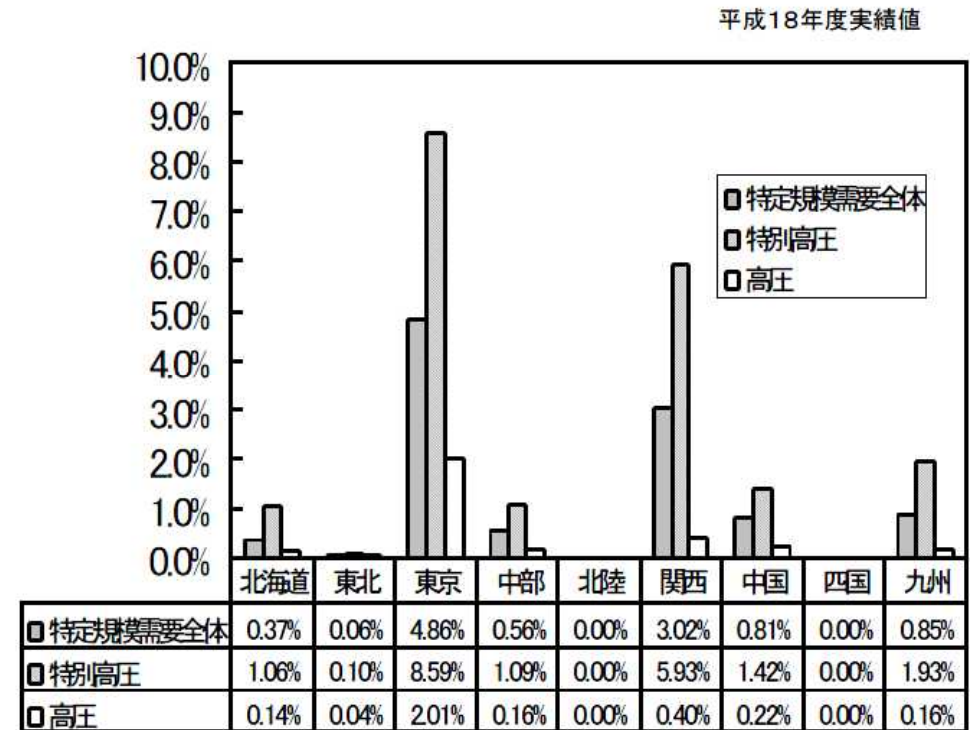
新規事業者のシェア

PPSの販売電力量シェア(需要種別)



出所: 電力需要調査

PPSの販売電力量シェア(地域別)

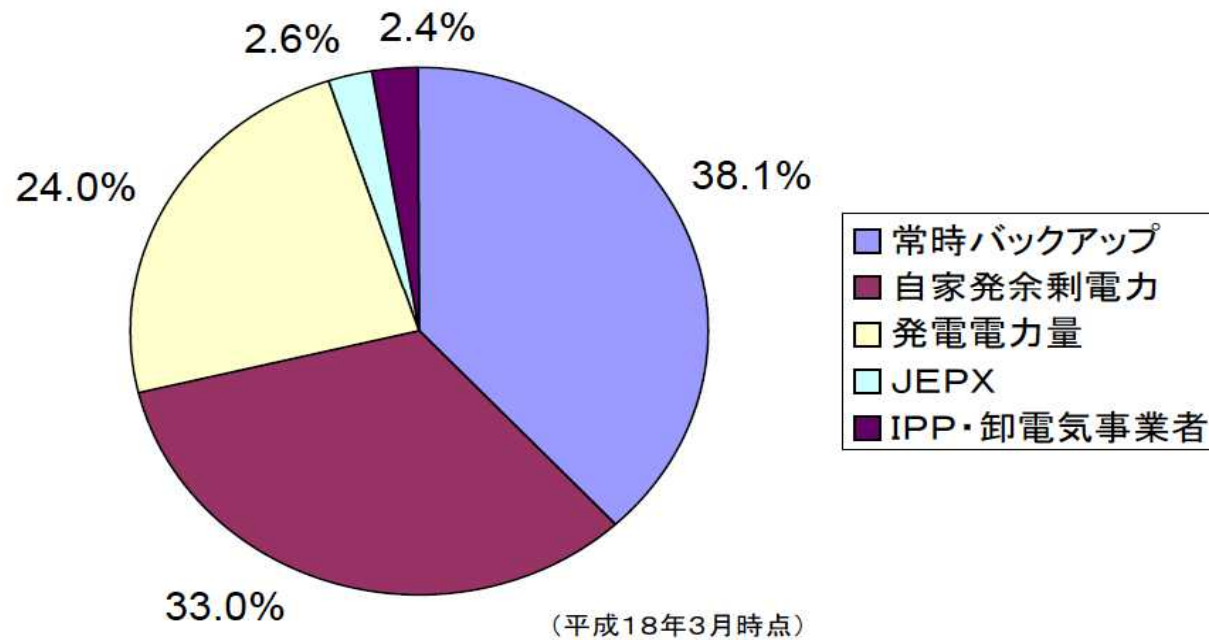


出所: 発電電月報

- 総合資源エネルギー調査会電気事業分科会制度改革ワーキンググループ(第1回) 配付資料
<http://www.meti.go.jp/committee/materials/downloadfiles/g70703e05j.pdf>

新規事業者の供給力

- 現在、PPSは一般電気事業者からの常時バックアップに4割程度依存している。それ以外は、自家発余剰からの購入や自社電源等により賄っている。
- ただし、今後PPS等による大規模なLNG火力電源が運開される予定。

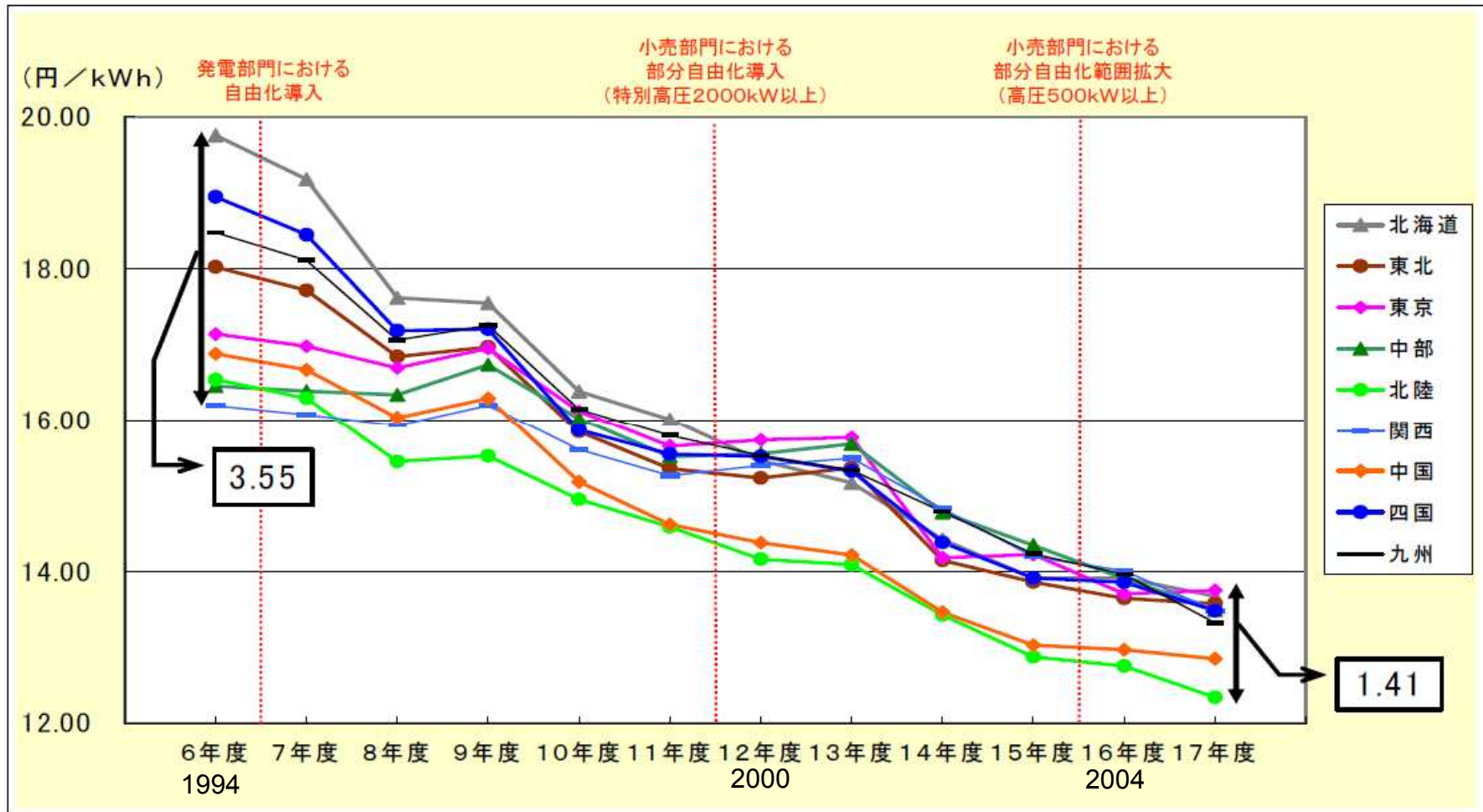


※JEPXについては、PPS13社の合計の数値を12/11倍し、その他の数値については、PPS13社の合計の数値を12/9倍。
※発電電力量とは、PPS自らが発電した電力量から自己消費量を引いたもの。

出所: アンケート等を基に経済産業省作成

20

電力価格の低下



電気料金は、電力料収入を電力の販売電力量(kWh)の合計で除した平均単価。 出所: 電気事業便覧、電力需要実績(確報)、各電力会社プレス資料